

平成30年度「第Ⅱ・Ⅲ期教員免許状更新講習【選択領域・18時間】」 「高め合う集団づくりをめざす体験活動の指導」

第Ⅱ期 平成30年 8月 2日(木)～3日(金)
第Ⅲ期 平成30年 11月 23日(金)～24日(土)

【目的】 学校の教育活動に体験活動を取り入れることの意味を理解し、体験活動を指導する上での指導方法や安全管理について実習をして学び、学級経営や生徒指導に活かす。

【参加者】 第Ⅱ期40名 第Ⅲ期37名(幼稚園・小学校・中学校・高等学校・総合支援学校等の教諭及び教育委員会職員)

【講師】

鈴木 邦治(福岡教育大学 教授)

藤井 一憲(山口県教育庁義務教育課 教育調整監)

中村 慶治(国立山口徳地青少年自然の家 次長) ※体験活動指導補助:中島辰博(主任企画指導専門職), 片山伸二(企画指導班)

【1日目の内容】 ※Ⅲ期では、プログラム順を一部入替えて実施

8:50 開講式

9:00 (1) 実習「学級開きや仲間づくりに活用できる体験活動の指導」

講師: 国立山口徳地青少年自然の家 企画指導専門職

10:00 (2) 実習「グループで話し合って課題を解決する体験活動の指導」

講師: 国立山口徳地青少年自然の家 企画指導専門職

13:00 (3) 講義・実習「体験活動における振り返りの指導」

講師: 国立山口徳地青少年自然の家 企画指導専門職

15:10 (4) 講義・実習「野外活動における安全管理と野外炊事の技術」

講師: 国立山口徳地青少年自然の家 次長 中村慶治

企画指導専門職

20:00 (5) 講義「教育の現状と課題」

講師: 山口県教育庁義務教育課 教育調整監 藤井一憲

【2日目の内容】

8:30 (6) 講義・実習「体験活動の指導方法の考え方と技術」

講師: 国立山口徳地青少年自然の家 次長 中村慶治

10:00 (7) 講義「体験活動の意義と教育課程への位置づけ」

講師: 福岡教育大学 教授 鈴木邦治

13:00 (8) 実習「グループワークの指導」

講師: 国立山口徳地青少年自然の家 次長 中村慶治

主任企画指導専門職 中島辰博

企画指導班 片山伸二

17:00 履修認定試験

18:00 閉講式



【実習 仲間づくりに活用できるグループワークの指導方法】
グループワークの体験を通して、指導方法と効果を考える。



【実習 野外炊事を通して安全管理と指導技術を学ぶ】
実習の中で、危険予測を中心に安全管理について考える。
小集団活動を体験し、宿泊学習の効果を高める指導について考える。



【講義から実習へ】
講義と実習を合わせることで、
実感を伴った理解を目指す。



【講義 体験活動の意義と教育課程】
講習のまとめとして教育課程の中で
実施する様々な体験活動のねらいを
考える。



【実習 振り返り、グループワークの指導】
2日間の体験学習を通して、グループの力が高まっていく過程を体感し、
実践への意欲を高める。



【受講後アンケートより】

『実習と講義の組合せがよかった。指導に生かして
いけるものをたくさんもらった。』『体験から学ぶこと
の楽しさを実感した。子ども達に会ったらどんな
ことをしようかとワクワクした気持ちになる。』『た
った2日間だったが、達成感、充実感、また頑張ろ
うと実感できた。多くの先生方に体験してもらい
たい。』『体験活動の手法や応用についてわかった。
他県からの参加だが、来てよかった。』『人の気持ち
がつながるとき』を体感できた。「生徒」にも体感さ
せたい。』『Are you ok? I'm ok. You're ok All ok.
とても楽しく学べた2日間でした。』

【成果】

多忙な先生方のニーズに合致するよう、一泊二日の日程で選択講習18時間を実施した。
講習のねらいを「体験活動の手法を教育現場で生かす」とし、実習と講義を関連させて
実感を伴った理解と実践のための技能習得を目指した。「実感できた」「実践したい」と
の感想をたくさんいただいている。

【課題】

先生方の指導者としてのニーズと本講習の内容が合致していたかを講習後アンケート
から分析し、現場に生かせる学びがより多くなるように講習内容を細部まで検討する。

【今後の展望】

このような指導者講習で、先生方に体験学習の効果を実感していただき、園や学校で、
体験活動を取り入れた教育実践を増やしていただくことを目指す。また、先生方からご
意見をいただき、所で提供している幼児から青年までの発達に応じた体験学習プログラ
ムの改善を進める。